これからのトレンドは、２６インチのマウンテンバイクだ！！

業界的には、終わったとされている２６インチのマウンテンバイクです。

が!

今だからこそ２６インチの良さが際立つのではないでしょうか!

今回は、２６インチのマウンテンバイクの魅力をご紹介!

今回、バイチャリという中古自転車店で激安でゲットした

ルイガノのXC　CASPER　PROというモデルのハードテイルバイク。

値段は、この記事の最後で！！

購入の目的は・・・

「ザ・通勤」

通勤用途で気兼ねなく雨でも安心して乗りたい!

購入のポイントは以下の３点

・ディスクブレーキ仕様であること（安全性）

・値段がお手頃であること（経済性）

・太いタイヤが取り付けられること（安定性）

で、今回購入したのがこのマウンテンバイク。

正直、２６インチのマウンテンバイクは・・・

どこでも激安・・・

業界は、２７．５と２９インチにシフトしていっているのもあって、

２６インチの部品は新規では入手困難になっているとされています。

「されている」んです。

中古市場は、死ぬほど２６インチのパーツがしかも

良い状態のものが溢れています。しかも安価で!

マウンテンバイク業界は、長いこと２６インチが主流だった時代が

あるので、当然のごとく今の２７．５インチよりも市場に

出回っているパーツの数は多い。

そこが、今回みなさんに２６インチのマウンテンバイクを

おススメする理由です。

（フロントサスペンションは、ROCKSHOXを搭載している）

機械式のディスクブレーキを搭載し、ディスクローターの径は、

１６０mmと標準的なものを搭載。

前後ともにクイックリリースでホイールを着脱できる。

個人的には、スルーよりも車のルーフキャリアに積めるので、

クイック式の方がよかったりします。

コンポは、フロントが３速。リアが、８速。

グレードは、シマノのアリビオという正直聞いたことがなかったもの。

クランクは、１７０mmと普段ロードで使っているのが１６５mmなのですが、

通勤で、ビンディングは仕様していないので脚にダメージはこないです。

このフレームは、カンチ台座もあるので欲張り仕様になっております。

まぁ、バイチャリさんは整備がしっかりしている印象で変速もばっちりきまります。

ディスクローターも新しい感じですし、安心して乗ることができます。

購入してからプチ改造したところは、ステムの長さを短くし、

シートポストをカーボンに変更、サドルは薄型のメッシュ状のものに変更。

クッション入りのものは、破れたり、雨の水がしみこんだりするので、

樹脂製のメッシュのものが通勤には最適なんです。クッション性がないと

思われがちですが、ロードで鍛えたお尻にはちょうどいいくらいの感触。

さて、お値段は・・・

なんと!

１万７千円!！

通勤で使用するので、雨でも乗ることがあります。

なので、気兼ねなく乗れるくらいの金額で、ディスクブレーキの制動力が必要でした。

２７．５インチのMTBと比べて、取り回しがしやすく、もちろんディスクブレーキの

制動力は普通に安定しています。機械式ですが、後に油圧にするのもありです。

リム式のホイールではないので、摩耗するところはディスクローターのみなので

ホイールの寿命は非常に長いです。

https://buychari.com/